

画とはどのようなものか伺う。

答安全計画に盛り込む内容は、①施設・設備等の安全点検②児童・保護者への安全確保のための安全指導③実践的な訓練や研修の実施④再発防止の徹底等である。

問公立保育所では、インクルーシブ保育についてどのように考えているのか伺う。

答さまざまな境遇の子どもでも、同じクラスで、子どもや保護者の気持ちに寄り添い、必要な援助を行うことで、他の子どもと一緒に成長できる保育を実施している。

問保育士の確保に関するメリットをどう考えているのか。

答保育士の柔軟な勤務体制が可能となり、業務負荷の軽減や、より安定した安全な保育運営が可能となる。

問保育士の仕事は重労働であり、その確保は喫緊の課題である。市は保育に関しどのような考えを持っているか。

答保育所保育指針の基本原則を踏まえ、子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うことのできる環境を提供することが重要である。特に保育所は乳幼児が保育士や他の子どもたちと関わる経験を積み重ねる場であり、家庭や地域とも連携し、子どもたちの健やかな育ちを実現していくべきものとする。

問条例改正で保育士の配置基準が緩和される。保育の質を下げずに子どもの安全をどのように確保するのか。

答今回の措置を活用して保育サービスの提供をする場合でも、実地指導を通じて保育サービスの質を確認し、子どもたちの安全が確保されるよう運用していきたい。

問安全計画の策定に当たり必要となる物的資源や人的配置などへの公的な支援はあるのか。

答安全計画の策定に係る物的資源や人員配置などへの公的支援については、現段階では国等から具体的に示されているものはないが、児童福祉施設の負担軽減を図るため、安全計画の参考様式等が示されている。

問計画の明確な基準や予算措置などの支援を国に求めることが必要な状況ではあるが、市の独自支援の考えは。

答国から示される安全計画の策定に関する情報提供の他、公立保育園において策定する安全計画を参考として示すことにより、施設側の負担軽減につなげたい。また、国等にも、公立保育園を含めた事業者に安全計画策定の支援が行われるよう機会を捉え要望したい。

#### 議案第20号

### 令和4年度一般会計補正予算

公明党 | 日本共産党

問今回の補正予算と令和3年度一般会計補正予算第11号の違いは何か伺う。

答臨時財政対策債の減額補正がなかったことによる市債の増や令和3年度の実質収支が過去最大であったことによる前年度剰余金の増額に伴う繰越金の増などである。

問年度末で完了する本庁舎老朽化対策事業の成果は。

答課題となっていた空調設備の老朽化による故障リスクが軽減された他、個別空調方式としたことで各階各所に適した温度管理がしやすくなった。さらには全フロアの空調設備が稼働を開始した令和4年10月以降の空調設備に係る電力消費量について、過去3年度の平均値と比較したところ、現段階では20パーセント程度の削減効果が得られている。

問補正後の財政調整基金の残高は。

答未計上繰越金等を財源とした繰り戻しや積立金の計上により、43億9854万2千円と見込んでいる。

問来年度以降の新型コロナワクチンの接種予定は。

答国では必要な接種を自己負担なく受けられるとする方針だが令和5年2月現在、詳細は決定していない。国の方針が決定され次第、速やかに接種体制を構築していく。

問(仮称)川越東環状線整備の今後の予定は。

答国道254号から川越工業団地までの約2.6キロメートルの事業区間のうち、これまで県道川越栗橋線の手前までの約1.2キロメートルの整備が完了している。次年度には市道3571号線の整備工事の着手を予定しており、今後早期の完成を目指していきたい。



(仮称)川越東環状線工事予定地

#### 議案第22号

### 令和4年度後期高齢者医療事業 特別会計補正予算

日本共産党

問保険料の積算に当たり生活実態をどう把握したのか。

答令和3年度の1人当たり医療費の県内平均は84万668円で、令和4年度は増加が見込まれている。一方で市の後期高齢者の所得は、200万円以下の人が8割以上を占めている。

問保険料引き上げの影響は。

答1人当たり保険料は令和3年度が7万6481円、令和4年度が7万8773円で、保険料負担は大きくなっている。

問10月に窓口負担が一部2倍となったが、市民からどのような意見が寄せられたか。

答2割負担の基準、配慮措置等の問い合わせや、生活に対する不安の声が寄せられた。